

保健師の皆様

### 保健師人材育成ガイドライン～実習指導を人材育成と一体的に～について

社会情勢の変化や複雑困難な健康課題に対応するために、保健師は育ちあい、保健活動の質を向上させることで、住民への責任を果たしています。とはいえ、人材育成をする時間の余裕や、予算を十分に確保できないこともあります。だからこそ、業務の中でトレーニングができる機会、つまり日々のOJT (On the job training) を基本とした重層的な力量形成過程を工夫することで、職員の能力形成につながると考えています。

このたび、岡山県の看護系大学で保健師養成等に携わる教員の研究会におきまして、保健師の人材育成をテーマに検討をしてみました。そして、人材育成の一手段であるOJTとして「実習指導」を活用することで、保健活動に求められる能力の獲得が可能であろうと考え、ガイドラインを作成いたしました。

実習指導者には、実習生が実習で何を学び、何を体得すべきなのかを明確にしながら、実習計画を立案することが期待されます。これらは、実習計画を立てること、実習指導計画を立てること、その評価計画を立てることであり、この計画立案・実施・評価ができる能力は、保健活動においても共通する獲得すべき能力です。

本ガイドラインは、実習指導をテーマとしておりますので、現在保健師養成機関で行われている教育の現状をご理解いただいたうえで、実習担当者だけでなく、実習全体や人材育成のマネジメントをする中堅期・管理期にもある多くの保健師のみなさんに活用いただきたいと考えています。

実習指導における現状把握、課題の整理、実習計画及び実習指導計画の立案、評価を行う一連の過程を、必要な能力獲得のための手段として用い、保健活動全般の能力獲得につなげ、自治体の保健師と保健師学生がとともに育ちあうことを目的としていますので、是非このガイドラインを参考にしてください。

なお、本ガイドラインの **P15～17 に実習指導者のための研修プログラム** を掲載しております。人材育成の一環として **本研修プログラムの実施にご関心がありましたら、下記までご相談ください。**



#### 【本ガイドライン及び研修の問い合わせ窓口】

◆◆岡山県 保健師教育研究会◆◆

ご希望があれば、冊子を送ります。ご連絡ください。  
また左記のイラストをクリックすると、PDF ファイルをダウンロードできます。

岡山県立大学保健福祉学部看護学科 森永裕美子  
〒719-1197 岡山県総社市窪木 111  
電話 0866-94-2163